文学部便覧の訂正について（重要）

文学部便覧の下記項目について、内容を修正します。

（1）

<table>
<tr><th>年度</th><th>2016</th><th>2017</th><th>2018</th><th>2019</th><th>2020</th><th>2021</th><th>2022</th><th>2023</th><th>2024</th></tr>
<tr><td>該当ページ</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td></tr>
<tr><td>誤</td><td colspan="9">
(1)　試験
①　試験には、予め期間を定めて行う定期試験と、その他臨時に行う試験があります。
<table>
<tr><th colspan="2">試験</th><th>実施時期</th><th>注意事項</th></tr>
<tr><td rowspan="2">定期試験</td><td>春学期試験</td><td>７月下旬</td><td rowspan="2">試験用時間割により実施します（授業科目によっては試験期間前に行う科目もあります）。</td></tr>
<tr><td>秋学期試験</td><td>１月下旬～２月初旬</td></tr>
<tr><td colspan="2">小テスト及びレポート</td><td>随時</td><td></td></tr>
</table>
②　履修した授業科目については、予め定められた期間に試験を行い、その結果を総合的に勘案して、学業成績を考査します（授業科目によっては、レポートによる考査もあります）。
③　定期試験は、試験用時間割で実施しますので、授業時間とは異なる曜日・時限に行われることがあります。
④　試験の受験は原則として授業科目を開講しているキャンパスになります。
⑤　やむを得ない事由で試験を欠席し、当該試験科目の受験を希望する場合は、当該試験終了後、試験日を含めて７日以内に「特別試験受験願」を文学部事務室に届け出なければなりません。この場合、この「受験願」に加えて、欠席事由を証明できるもの（例えば、病気の場合は試験当日の日付が記載された診断書）を添付することが必要です。試験の実施方法等は、当該授業科目担当者の指示に従って行いますが、試験日を別途定めて行う場合があります。申請者には、受験の可否を含めて通知します。なお、特別試験の受験が許可され、指定された期日に何らかの事由で試験を受験できない場合は、再度の特別試験は実施しません。
⑥　学費が未納の場合、定期試験を受験することはできません。
⑦　**４年次終了時、卒業単位不足者のため、救済措置としての再試験は一切行っていません。**
</td></tr>
<tr><td>正</td><td colspan="9">
(1)　試験
①　試験には、予め期間を定めて行う定期試験と、その他臨時に行う試験があります。
<table>
<tr><th colspan="2">試験</th><th>実施時期</th><th>注意事項</th></tr>
<tr><td rowspan="2">定期試験</td><td>春学期試験</td><td>７月下旬</td><td rowspan="2">試験用時間割で実施します（授業科目によっては試験期間前に行う科目もあります）。</td></tr>
<tr><td>秋学期試験</td><td>１月下旬～２月初旬</td></tr>
<tr><td colspan="2">小テスト及びレポート</td><td>随時</td><td></td></tr>
</table>
②　履修した授業科目については、予め定められた期間に試験を行い、その結果を総合的に勘案して、学業成績を考査します（授業科目によっては、レポートによる考査もあります）。
③　定期試験は、試験時間割で実施しますので、授業時間とは異なる曜日・時限に行われることがあります。
④　定期試験は、原則として授業科目を開講しているキャンパスで実施されます。
⑤　やむを得ない事由で試験を欠席し、当該試験科目の受験を希望する場合は、当該試験終了後、試験日を含めて５日以内に「特別試験受験願」を文学部事務室に届け出なければなりません。この場合、この「受験願」に加えて、欠席事由を証明できるもの（例えば、病気の場合は試験当日の日付が記載された診断書）を添付することが必要です。試験の実施方法等は、当該授業科目担当者の指示に従って行いますが、試験日を別途定めて行う場合があります。申請者には、受験の可否を含めて通知します。なお、特別試験の受験が許可され、指定された期日に何らかの事由で試験を受験できない場合は、再度の特別試験は実施しません。
⑥　学費が未納の場合、定期試験を受験することはできません。
⑦　**４年次終了時、卒業単位不足者を対象とした、救済措置としての再試験は一切行っていません。**
</td></tr>
</table>

（2）

<table>
<tr><th>年度</th><th>2016</th><th>2017</th><th>2018</th><th>2019</th><th>2020</th><th>2021</th><th>2022</th><th>2023</th><th>2024</th></tr>
<tr><td>該当ページ</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td></tr>
<tr><td>誤</td><td colspan="9">⑶　レポート・論文の剽窃（盗用）行為への注意
授業の課題として課せられるレポートや論文を作成する際に、他人の文章（書籍・論文・Web ページ）をそのまま無断で借用したり、他の学生が作成した文章を自分の文章であるかのようにみせかけたりする剽窃（盗用）行為は、大学全体として禁じられています。
文学部では、大学が示したガイドラインを踏まえ、以下のようにルールを定めていますので、学生諸君は、よく注意してレポートや論文を作成するようにしてください。

①　剽窃（盗用）行為は社会的に許されない行為
剽窃行為は、他人の学問的業績を無断で借用することであり、学問のルールに反するだけでなく、場合によっては他人の著作権を侵害する犯罪行為にもなる社会的に許されない行為です。
②　剽窃（盗用）行為とみなされる事例
次のような行為は、剽窃（盗用）とみなされます。また、これに類似した行為や剽窃を助ける行為（レポート等のひな形を作成して他人に見せること等）も同様です。
○活字媒体（書籍・雑誌・新聞等）や Web サイト等に掲載された他人の文章（無署名であっても）や資料等について、出典を示さずにそのまま使い、あるいは前後関係や語句を若干変更した程度でレポート・論文を作成すること。
○引用した部分を具体的に示さず、レポート・論文の最後に「○○参照」などと簡単に触れるにとどめること。
○他人が作成した文章をあたかも自分が作成したかのごとくみせかけて、あるいは前後関係や語句を若干変更してレポート・論文を作成すること。</td></tr>
<tr><td>正</td><td colspan="9">⑶　レポート・論文の剽窃（盗用）行為への注意
授業の課題として課せられるレポートや論文を作成する際に、他人の文章（書籍・論文・Web ページ等）をそのまま無断で借用したり、他の学生が作成した文章を自分の文章であるかのようにみせかけたりする剽窃（盗用）行為は、大学全体として禁じられています。また、生成系 AI 等によって作成された文章も同様です。
文学部では、大学が示したガイドラインを踏まえ、以下のようにルールを定めていますので、学生諸君は、よく注意してレポートや論文を作成するようにしてください。

①　剽窃（盗用）行為は社会的に許されない行為
剽窃行為は、他人の学問的業績を無断で借用することであり、学問のルールに反するだけでなく、場合によっては他人の著作権を侵害する犯罪行為にもなる社会的に許されない行為です。
②　剽窃（盗用）行為とみなされる事例
次のような行為は、剽窃（盗用）とみなされます。また、これに類似した行為や剽窃を助ける行為（レポート等のひな形を作成して他人に見せること等）も同様です。
○活字媒体（書籍・雑誌・新聞等）や Web サイト等に掲載された他人の文章（無署名であっても）や資料等について、出典を示さずに、そのまま使ったり前後関係や語句を若干変更した程度でレポート・論文を作成したりすること。
○引用した部分を具体的に示さず、レポート・論文の最後に「○○参照」などと簡単に触れるにとどめること。
○他人・生成系 AI 等が作成した文章をそのまま、あるいは前後関係や語句を若干変更するなどして、あたかも自分が作成したかのごとくみせかけてレポート・論文を作成すること。</td></tr>
</table>

以　上

2025.4.7

文学部事務室

文学部便覧の訂正について（重要）

文学部便覧の下記項目について，下線部分の内容を修正します。

年度	2024
該当ページ	68

誤

		1年次	2年次	3年次	4年次	合計単位数		
必修科目	専攻必修科目	20		4	8	32	48※	124以上※
		基礎演習(日本史)A・B	史料演習(日本史)A・B 文献講読(日本史)A・B	演習Ⅰ(日本史) A・B	卒業論文Ⅰ・Ⅱ(史学地理学科)			
		史学概論（歴史学）・(日本史)日本史概論A・B						
	外国語科目	8	4※			12		
	ウェルネス科目	4				4		
選択科目	専攻選択科目A	12以上				62以上	76以上	
	専攻選択科目B							
	共通選択科目	24以上						
	その他選択科目							
年次履修制限単位数		48	48	48	48	資格課程用の科目含まず		
専攻選択科目A		日本古代史　日本中世史 日本近世史　日本近代史 日本現代史（戦前）・(戦後)						
		日本文化史Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		日本古代史料学　日本中世史料学 日本近世史料学　日本近現代史料学 日本史特説（政治と文化）A・B 日本史特説（政治と宗教）A・B 日本史図像資料研究 日本史映像資料研究 移民・難民の社会学　前近代研究方法論 ジェンダー論				
					演習Ⅱ(日本史)A・B			

正

		1年次	2年次	3年次	4年次	合計単位数		
必修科目	専攻必修科目	20		4	8	32	48※	124以上※
		基礎演習(日本史)A・B	史料演習(日本史)A・B 文献講読(日本史)A・B	演習Ⅰ(日本史) A・B	卒業論文Ⅰ・Ⅱ(史学地理学科)			
		史学概論（歴史学）・(日本史)日本史概論A・B						
	外国語科目	8	4※			12		
	ウェルネス科目	4				4		
選択科目	専攻選択科目A	12以上				62以上	76以上	
	専攻選択科目B							
	共通選択科目	24以上						
	その他選択科目							
年次履修制限単位数		48	48	48	48	資格課程用の科目含まず		
専攻選択科目A		日本古代史　日本中世史 日本近世史　日本近代史 日本現代史（戦前）・(戦後)						
		日本文化史Ⅰ・Ⅱ ~~民俗学Ⅰ・Ⅱ~~		日本古代史料学　日本中世史料学 日本近世史料学　日本近現代史料学 日本史特説（政治と文化）A・B 日本史特説（政治と宗教）A・B 日本史図像資料研究 日本史映像資料研究 移民・難民の社会学　前近代研究方法論 ジェンダー論				
					演習Ⅱ(日本史)A・B			

※該当するページ（項目）は以下のとおりです。
学部事項　日本史学専攻　履修上の留意点　文学部日本史学専攻の授業科目と卒業所要単位

以　上

2024.4.6

文学部事務室

文学部便覧の訂正について（重要）

文学部便覧の下記項目について，波線部分の内容を修正します。

年度	2018	2019
該当ページ	89	89

誤

（2） 履修表

①臨床心理学専攻

	1年次	2年次
専攻必修科目	心理社会演習基礎演習ⅠA 心理社会演習基礎演習ⅠB 心理社会研究入門A 心理社会研究入門BまたはC	心理社会演習基礎演習ⅡA 心理社会演習基礎演習ⅡB 心理社会調査研究法A（心理学統計法） 心理社会調査研究法B（心理学研究法） 心理的アセスメント
専攻選択科目	臨床心理学概論Ⅰ，臨床心理学概論Ⅱ，健康・医療心理学，教育・学校心理学，心理学的支援法Ⅰ，社会・集団・家族心理学Ⅱ，感情・人格心理学，発達心理学，社会・集団・家族心理学Ⅱ，知覚・認知心理学，学習・言語心理学，人体の構造と機能および疾病，身体と社会，市民活動論，臨床社会学，環境社会学，社会的逸脱論，西洋思想研究，東洋思想研究，文学と哲学，歴史と哲学，臨床哲学	

正

（2） 履修表

①臨床心理学専攻

	1年次	2年次
専攻必修科目	心理社会研究基礎演習ⅠA 心理社会研究基礎演習ⅠB 心理社会研究入門A 心理社会研究入門BまたはC	心理社会研究基礎演習ⅡA 心理社会研究基礎演習ⅡB 心理社会調査研究法A（心理学統計法） 心理社会調査研究法B（心理学研究法） 心理的アセスメント
専攻選択科目	臨床心理学概論Ⅰ，臨床心理学概論Ⅱ，健康・医療心理学，教育・学校心理学，心理学的支援法Ⅰ，社会・集団・家族心理学Ⅰ，感情・人格心理学，発達心理学，社会・集団・家族心理学Ⅱ，知覚・認知心理学，学習・言語心理学，人体の構造と機能および疾病，身体と社会，市民活動論，臨床社会学，環境社会学，社会的逸脱論，西洋思想研究，東洋思想研究，文学と哲学，歴史と哲学，臨床哲学	

以　上

2019.4.12

文学部事務室

文学部便覧の訂正について（重要）

文学部便覧の下記項目について，波線部分の内容を修正します。

年度	2018	2019
該当ページ	90	90

誤

（2） 履修表

②現代社会学専攻

	1年次	2年次	3年次	4年次
専攻必修科目	心理社会演習基礎演習ⅠA 心理社会演習基礎演習ⅠB 心理社会研究入門B 心理社会研究入門A またはC 身体と社会	心理社会演習基礎演習ⅡA 心理社会演習基礎演習ⅡB 心理社会調査研究法A （心理学統計法） 心理社会調査研究法B （心理学研究法）	臨床社会学演習A･B 臨床社会学実習A･B ライフサイクルと人間Ⅰ ライフサイクルと人間Ⅱ	卒業論文Ⅰ・Ⅱ
専攻選択科目	市民活動論，臨床社会学，環境社会学，社会的逸脱論，社会ネットワーク論，社会意識論，アイデンティティ論，情報社会論，コミュニティデザイン論，臨床心理学概論Ⅰ，臨床心理学概論Ⅱ，健康・医療心理学，教育・学校心理学，心理学的支援法Ⅰ，社会・集団・家族心理学Ⅱ，感情・人格心理学，発達心理学，西洋思想研究，東洋思想研究，文学と哲学，歴史と哲学，臨床哲学		障害学，ターミナルケア，マイノリティ論，ジェンダー論，ソーシャルワーク論，社会運動論，現代社会論，社会的共生論，障害者（児）心理学，精神疾患とその治療，産業・組織心理学，司法・犯罪心理学，福祉心理学，深層心理学，心理学的支援法Ⅱ，芸術と哲学，環境の哲学，コミュニケーションの哲学	

正

（2） 履修表

②現代社会学専攻

	1年次	2年次	3年次	4年次
専攻必修科目	心理社会研究基礎演習ⅠA 心理社会研究基礎演習ⅠB 心理社会研究入門B 心理社会研究入門A またはC 身体と社会	心理社会研究基礎演習ⅡA 心理社会研究基礎演習ⅡB 心理社会調査研究法A （心理学統計法） 心理社会調査研究法B （心理学研究法）	臨床社会学演習A･B 臨床社会学実習A･B ライフサイクルと人間Ⅰ ライフサイクルと人間Ⅱ	卒業論文Ⅰ・Ⅱ
専攻選択科目	市民活動論，臨床社会学，環境社会学，社会的逸脱論，社会ネットワーク論，社会意識論，アイデンティティ論，情報社会論，コミュニティデザイン論，臨床心理学概論Ⅰ，臨床心理学概論Ⅱ，健康・医療心理学，教育・学校心理学，心理学的支援法Ⅰ，社会・集団・家族心理学Ⅱ，感情・人格心理学，発達心理学，西洋思想研究，東洋思想研究，文学と哲学，歴史と哲学，臨床哲学		障害学，ターミナルケア，マイノリティ論，ジェンダー論，ソーシャルワーク論，社会運動論，現代社会論，社会的共生論，障害者（児）心理学，精神疾患とその治療，産業・組織心理学，司法・犯罪心理学，福祉心理学，深層心理学，心理学的支援法Ⅱ，芸術と哲学，環境の哲学，コミュニケーションの哲学	

以上

2019.4.12

文学部事務室

文学部便覧の訂正について（重要）

文学部便覧の下記項目について，波線部分の内容を修正します。

年度	2018	2019	2020
該当ページ	105	105	105

誤	【選択科目】 障害者（児）心理学
正	【選択科目】 障害者・障害児心理学

以　上

2020.12.1

文学部事務室

文学部便覧の訂正について（重要）

文学部便覧の下記項目について，波線部分の内容を修正します。

年度	2021
該当ページ	103
誤	【選択科目】 障害者（児）心理学
正	【選択科目】 障害者・障害児心理学

以　上

2021.4.14

文学部事務室

文学部便覧の訂正について（重要）

文学部便覧の下記項目について，波線部分の内容を修正します。

年度	2021
該当ページ	25
誤	d. 学部間共通外国語科目（卒業認定単位に含む） 　学部間共通外国語科目の一部の科目（P.111～112参照）を，選択科目の「学部間共通外国語科目」として卒業に必要な単位数に含めることができます。
正	d. 学部間共通外国語科目（卒業認定単位に含む） 　学部間共通外国語科目の一部の科目（P.109～110参照）を，選択科目の「学部間共通外国語科目」として卒業に必要な単位数に含めることができます。

以　上

2021.4.14

文学部事務室

文学部便覧の訂正について（重要）

文学部便覧の下記項目について，内容を修正します。

年度	2020	2021	2022
該当ページ	96	94	98

誤

科目名	設置専攻	単位数	総授業時間数	配当年次	日文	英米	ドイ文	フ文	演劇	文メ	日史	ア史	西史	考古	地理	臨心	現社	哲学
フランス語コミュニケーションⅠA	フ文	2	◆	1	B	B	B	必	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
フランス語コミュニケーションⅠB	フ文	2	◆	1	B	B	B	必	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
フランス語コミュニケーションⅡA	フ文	2	◆	2	B	B	B	必	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
フランス語コミュニケーションⅡB	フ文	2	◆	2	B	B	B	必	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
フランス語コミュニケーションⅢA	フ文	2	◆	2	B	B	B	必	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
フランス語コミュニケーションⅢB	フ文	2	◆	2	B	B	B	必	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
フランス語コミュニケーションⅣA	フ文	2	◆	2	B	B	B	必	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
フランス語コミュニケーションⅣB	フ文	2	◆	2	B	B	B	必	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B

正

科目名	設置専攻	単位数	総授業時間数	配当年次	日文	英米	ドイ文	フ文	演劇	文メ	日史	ア史	西史	考古	地理	臨心	現社	哲学
フランス語コミュニケーションⅢA	フ文	2	◆	2	B	B	B	必	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
フランス語コミュニケーションⅢB	フ文	2	◆	2	B	B	B	必	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
フランス語コミュニケーションⅣA	フ文	2	◆	2	B	B	B	必	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
フランス語コミュニケーションⅣB	フ文	2	◆	2	B	B	B	必	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B

以　上

2022.4.09

文学部事務室

文学部便覧の訂正について（重要）

文学部便覧の下記項目について，内容を修正します。

年度	2011 ～ 2017	2018	2019	2020	2021
該当ページ	※	110	109	109	107

誤

情報リテラシー	人間と情報Ⅰ	1・2	2	◆	
	人間と情報Ⅱ	1・2	2	◆	
	ICT エレメンタリー	1～4	2	◆	16単位まで履修可能。「ICT エレメンタリー」以外の科目は，Ⅰの単位を修得しないとⅡの履修はできません。各科目とも，Ⅰだけの履修は可能です。ⅠとⅡの同時履修の申請についてなどは「情報関係科目シラバス」を参照してください。
	ICT ベーシックⅠ	1～4	2	◆	
	ICT ベーシックⅡ	1～4	2	◆	
	ICT 統計解析Ⅰ	1～4	2	◆	
	ICT 統計解析Ⅱ	1～4	2	◆	
	ICT データベースⅠ	1～4	2	◆	
	ICT データベースⅡ	1～4	2	◆	
	ICT メディア編集Ⅰ	1～4	2	◆	
	ICT メディア編集Ⅱ	1～4	2	◆	
	ICT アプリ開発Ⅰ	1～4	2	◆	
	ICT アプリ開発Ⅱ	1～4	2	◆	
	ICT コンテンツデザインⅠ	1～4	2	◆	
	ICT コンテンツデザインⅡ	1～4	2	◆	
	ICT 総合実践Ⅰ	1～4	2	◆	
	ICT 総合実践Ⅱ	1～4	2	◆	

正

情報リテラシー	統計学	3・4	2	◆	
	人間と情報Ⅰ	1・2	2	◆	
	人間と情報Ⅱ	1・2	2	◆	
	ICT エレメンタリー	1～4	2	◆	16単位まで履修可能。「ICT エレメンタリー」以外の科目は，Ⅰの単位を修得しないとⅡの履修はできません。各科目とも，Ⅰだけの履修は可能です。ⅠとⅡの同時履修の申請についてなどは「情報関係科目シラバス」を参照してください。
	ICT ベーシックⅠ	1～4	2	◆	
	ICT ベーシックⅡ	1～4	2	◆	
	ICT 統計解析Ⅰ	1～4	2	◆	
	ICT 統計解析Ⅱ	1～4	2	◆	
	ICT データベースⅠ	1～4	2	◆	
	ICT データベースⅡ	1～4	2	◆	
	ICT メディア編集Ⅰ	1～4	2	◆	
	ICT メディア編集Ⅱ	1～4	2	◆	
	ICT アプリ開発Ⅰ	1～4	2	◆	
	ICT アプリ開発Ⅱ	1～4	2	◆	
	ICT コンテンツデザインⅠ	1～4	2	◆	
	ICT コンテンツデザインⅡ	1～4	2	◆	
	ICT 総合実践Ⅰ	1～4	2	◆	
	ICT 総合実践Ⅱ	1～4	2	◆	

※該当するページ（項目）は以下のとおりです。
学部事項　Ⅳ科目配当表および履修上の留意点　2.選択科目について　②共通選択科目

以　上

2022.5.30

文学部事務室